

# 令和2年度事業計画

公益財団法人 淡海文化振興財団

## 1 基本方針

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来「新しい淡海文化の創造」で提唱された、自然と共生し、伝統的な生活文化の中で取り組む未来に価値ある地域づくりを進めるために、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の事業を通じ、県民一人ひとりの主体的な社会的活動を支援してきた。

県内の市民活動を取り巻く環境は、NPO法の施行から21年が経過し、多くのNPO法人は「資金調達・確保」や「人材の不足・育成」さらには「情報発信力」等運営上の課題を抱える状況にあり、安定かつ継続可能な事業展開のための財源や人材の確保とともに、組織運営のマネジメント力が求められている。

こうしたことから、センターは市民活動団体、NPO等（以下「NPO等」という。）の組織基盤の強化や運営のサポートについて、関係機関と連携した相談業務や講座等の開催、相談指導、NPO等が行う事業を適切に評価することで社会的成果を高め社会課題の解決に寄与する「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

さらに、創設10年目となる「未来ファンドおうみ」において、市民や企業等の幅広い寄附者のニーズに沿った多様な基金について税額控除団体のメリットを最大限生かしつつ運営するとともに、引き続きセミナーの開催等を通じて寄附文化の醸成に努める。

## 2 事業計画

### (1) 情報提供事業

#### ア 情報交流誌「おうみネット」の発行

話題性とメッセージ性を重視した特集記事と活動団体の紹介記事を軸に、センター事業などの情報を提供するとともに、市民活動を応援する企業等の周知を目的に企業広告の掲載を行う。

A4判8頁 年3回発行 部数 10,000部/回

配布先 NPO等、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関

#### イ NPO等データベースの整備

NPO等に関する活動内容等の情報をデータベース化して、センターでの情報提供に活用する。

#### ウ 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集し、提供する。

#### エ インターネットの活用

センター情報や助成金情報などをホームページ、facebookを通じて発信する。

#### オ メールマガジン「おうみネットe〜マガジン」の配信

NPO等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行う。

### (2) 市民活動支援基盤強化事業

#### ア 組織基盤強化事業

##### (ア) 相談業務

団体の運営、法人の設立、多様な事業からの収入を得るための事業化等の組織運営全般に関する相談に対応するとともに、専門性の高い相談に応じる体制をつくる。また、NPO法人の認定取得に関する相

談・指導業務を強化する。

(イ) NPO等サポート業務

専門家や行政等のネットワークと連携し、NPO等の運営を支援していく。また、助成団体の運営等に関して、職員が直接団体を訪問し、さらに必要な場合は適切な専門家を団体に派遣するなど、事業継続のためのサポートを行う。

(ウ) NPO講座

NPO法人の設立手続、運営や会計についての講座を開催する。

(エ) 「社会的インパクト評価」普及促進事業

NPO等の活動が生み出す「社会的価値」を「可視化」し、これを「検証」し、資金等の提供者への説明責任につなげていくとともに、評価の実施により組織内部の運営力強化に資するため、「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

イ 市民活動支援事業

(ア) 市民活動フォーラムの開催

社会を取り巻く環境の変化と課題を見据えて、滋賀の市民活動の活性化と多様な主体の交流を促進するためのフォーラムを開催する。

(イ) 市民活動支援連携事業

センターと県内に設置されている市町域の市民活動支援センターのスタッフが相互研修や情報交換を行うことにより、相互の機能強化を図る。

(ウ) 研修事業

行政職員等の協働に対する理解を深める機会を提供することにより、行政、NPO等、企業等の協働を促進する。

(エ) 「市民活動ふらっとルーム」の運営

人と情報の交流促進を図る「市民活動ふらっとルーム」を運営する。

(3) 人材育成事業

ア 「おうみ未来塾」の運営

地域づくりや環境保全活動などの行政等だけでは解決できない地域課題に取り組む人材（地域プロデューサー）を養成する「おうみ未来塾」（第16期生、1年目）を運営するとともに、卒塾生との連携促進を図る。

(4) 「未来ファンドおうみ」の運営

セミナーの開催等による寄附文化の醸成に努めるとともに、「未来ファンドおうみ」の制度趣旨や助成事業の実績について、関係団体に積極的に広報する。

また、「未来ファンドおうみ」への寄附を募るための一環として、「おうみ良うなる！元気商品プロジェクト」を展開していく。

ア 冠基金

寄附者に対する助成団体の活動報告や報告会への招待など、寄附者と助成団体のより良い関係を構築していく。また、関係団体とのネットワークを活用し、寄附者の想いが生かされる当基金の趣旨等について企業等を訪問して理解を得ることなどにより寄附につなげていく。

イ びわ湖の日基金

当基金の趣旨等について企業等を訪問し理解を得るとともに、「寄附つき商品」の拡大を図る。

# 収 支 予 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	85	85	—	
受取会費	270	270	—	
事業収益	1,029	1,035	△	6
受取補助金等	46,800	46,600	△	200
受取受託金	—	230	△	230
受取寄付金	2,616	2,888	△	272
経常収益計	50,800	51,108	△	308
(2) 経常費用				
事業費	45,393	44,698	△	695
管理費	6,679	7,372	△	693
経常費用計	52,072	52,070	△	2
(うち人件費)	26,634	26,982	△	348
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,272	△ 962	△	310
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	△ 1,272	△ 962	△	310
当期一般正味財産増減額	△ 1,272	△ 962	△	310
一般正味財産期首残高	3,499	3,985	△	486
一般正味財産期末残高	2,227	3,023	△	796
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
特定資産運用益	1	1	—	
受取寄付金	1,800	1,800	—	
一般正味財産への振替額	△ 2,616	△ 2,888	△	272
当期指定正味財産増減額	△ 815	△ 1,087	△	272
指定正味財産期首残高	67,238	66,720	△	518
指定正味財産期末残高	66,423	65,633	△	790
<b>III 正味財産期末残高</b>	68,650	68,656	△	6

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	43	—	42	—	85
受取會費	270	—	—	—	270
事業収益	1,029	—	—	—	1,029
受取補助金等	40,305	—	6,495	—	46,800
受取受託金	—	—	—	—	—
受取寄付金	2,616	—	—	—	2,616
経常収益計	44,263	—	6,537	—	50,800
(2) 経常費用					
事業費用	45,393	—	—	—	45,393
管理費用	—	—	6,679	—	6,679
経常費用計	45,393	—	6,679	—	52,072
(うち人件費)	23,247	—	3,387	—	26,634
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 1,130	—	△ 142	—	△ 1,272
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 1,130	—	△ 142	—	△ 1,272
当期一般正味財産増減額	△ 1,130	—	△ 142	—	△ 1,272
一般正味財産期首残高	△ 669	—	4,168	—	3,499
一般正味財産期末残高	△ 1,799	—	4,026	—	2,227
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
特定資産運用益	1	—	—	—	1
受取寄付金	1,800	—	—	—	1,800
一般正味財産への振替額	△ 2,616	—	—	—	△ 2,616
当期指定正味財産増減額	△ 815	—	—	—	△ 815
指定正味財産期首残高	42,238	—	25,000	—	67,238
指定正味財産期末残高	41,423	—	25,000	—	66,423
<b>III 正味財産期末残高</b>	39,624	—	29,026	—	68,650

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和元年度事業報告

## 公益財団法人 淡海文化振興財団

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、平成23年4月から公益財団法人に移行し、これまで以上に市民が担い手となる社会づくりを目指す公益性の高い団体として活動してきた。

市民活動団体を総合的に支援する組織として、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の5本の事業を柱に、様々な主体のネットワークによる地域づくりの促進に努めた。

令和元年度は中期計画（2015年度～2019年度）に基づき、地域や社会の課題解決に自主的に取り組む市民活動団体・NPO等（以下「NPO等」という。）の支援や、NPO等と自治体、企業、教育機関等の様々な組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を実施した。

主な取組としては、税額控除団体のメリットを最大限生かした「未来ファンドおうみ」に、企業や個人から地域への想いを寄附として受け入れ、多様な支援活動を展開するとともに、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾」の運営等に努めた。また、県、NPO等と協働して活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及に取り組んだ。

### 1 情報提供事業

#### (1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、NPO等の活動情報等を掲載する「おうみネット」を発行した。

発行部数 10,000部/回 年3回発行（7月・12月・3月）

#### (2) 「未来ファンドおうみ通信」の発行

「未来ファンドおうみ」のPR、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例等寄附文化を育むことを目的に発行した。

発行部数 2,300部/回 年4回発行（7月・11月・12月・3月）

#### (3) NPO等データベースの整備

照会対応や情報提供の際の利便性、センターのサービスの向上を図るため、NPO等の活動内容やこれまでの相談・指導等の情報をデータベース化し、活用した。

#### (4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

市民活動関連の情報発信拠点として、地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集・提供するとともに、図書および雑誌の閲覧や貸出を行った。

#### (5) インターネットの活用

センターのホームページ、facebookを通じて、センターの事業やNPO等の情報発信を行った。また、利用者の利便性を追求し、ホームページのリニューアルを行った。

ホームページアクセス件数 59,800件（1日平均 164件）

#### (6) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

NPO等に月2回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信数 24回 926件/回

## 2 市民活動支援基盤強化事業

### (1) 組織基盤強化事業

#### ア 相談業務

市民や団体の様々な相談に応じる窓口の運営を行った。

相談実績 来所 50件 電話・メール 18件

#### イ NPO等サポート業務

NPO等の運営・事業実施をサポートするため、センター職員が訪問面談を行った。

団体数 14団体 面談回数 延べ 16回

#### ウ NPO講座

NPO等の運営や会計、NPO法人の設立手続等、NPO等の事務力と組織力を高めるための講座を開催した。

開催回数 4回 参加者数 37人

### (2) 市民活動支援事業

#### ア フォーラム等の開催

「“わくわく”する地域コミュニティの育み方を学ぼう!!」を開催した。

開催日 令和元年9月6日 参加者数 28人

#### イ 市民活動支援連携事業

センターと県内に設立されている市町域の市民活動支援センター等23団体のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換等を行う意見交換会を開催した。

開催回数 2回

#### ウ 研修事業

行政職員等の協働に対する理解を深めるため、県との協働により研修事業を実施した。

開催回数 4回 参加者数 199人

#### エ 「市民活動ふらっとルーム」の運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えた「市民活動ふらっとルーム(ワークコーナー)」の運営を行った。

利用実績 272件 467人

## 3 人材育成事業

### (1) 「おうみ未来塾」の開催運営

地域プロデューサー育成のため平成30年6月9日に開講した第15期「おうみ未来塾」の2年目の運営を行った。県内の優れた地域活動の現場を訪れ、そこで活動している方々から話を聞き、地域活動の現場を多面的に学ぶ基礎実践コースを経て、平成31年1月からの創造実践コースで3つのグループを編成し、地域課題に応じた新しい方策を模索しながら事業おこしに取り組み、令和元年12月に修了した。

第15期卒業生 16人

## 4 「未来ファンドおうみ」の運営

(1) ファンドレイジング入門セミナーの開催

開催日 令和元年11月30日 参加者数 11人

(2) 2019年度助成事業

「びわこ市民活動応援基金」、「びわ湖の日基金」、「積水化成品基金」、「笑顔あふれるコープしが基金」、「ナカザワNEOフレンドシップ基金」、「げんさん食育NPO基金」および「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」助成事業を行った。

びわこ市民活動応援基金2019助成事業 3団体

びわ湖の日基金2019助成事業 2団体

積水化成品基金2019助成事業 1団体

笑顔あふれるコープしが基金2019助成事業 3団体

ナカザワNEOフレンドシップ基金2019助成事業 1団体

げんさん食育NPO基金2019助成事業 3団体

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金2019助成事業 1団体

## 5 「社会的インパクト評価」普及促進事業

県、NPO等と協働して活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及を図るため、「社会的インパクト評価」入門セミナーおよび「社会的インパクト評価」学習会を開催した。また、前年度に伴走支援を行った団体に対し、フォローアップ研修を行った。

(1) 社会的インパクト評価入門セミナーの開催

開催日 令和元年6月8日 参加者数 49人

(2) 社会的インパクト評価学習会の開催

開催日 令和2年2月14日 参加者数 14人

(3) 社会的インパクト評価フォローアップ研修

開催日 令和2年2月20日 参加団体 3団体

## 6 賛助会員制度

自主財源の確保を図るため、賛助会員制度により運営を行った。

賛助会員数 個人72人 団体4団体

# 正味財産増減計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	85,000	85,000	—
受取会費	262,000	276,000	△ 14,000
事業収益	903,115	987,654	△ 84,539
受取補助金等	47,517,083	45,162,758	2,354,325
受取受託金	230,000	2,020,000	△ 1,790,000
受取寄付金	2,724,624	3,742,765	△ 1,018,141
雑収益	3,067	71	2,996
経常収益計	51,724,889	52,274,248	△ 549,359
(2) 経常費用			
事業費	43,528,358	45,938,036	△ 2,409,678
管理費	6,866,240	7,235,777	△ 369,537
経常費用計	50,394,598	53,173,813	△ 2,779,215
(うち人件費)	26,524,686	26,224,733	299,953
評価損益等調整前当期経常増減額	1,330,291	△ 899,565	2,229,856
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	1,330,291	△ 899,565	2,229,856
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産修正益	359,640	—	359,640
経常外収益計	359,640	—	359,640
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	4	△ 3
棚卸資産減少額	—	1,581,249	△ 1,581,249
経常外費用計	1	1,581,253	△ 1,581,252
当期経常外増減額	359,639	△ 1,581,253	1,940,892
当期一般正味財産増減額	1,689,930	△ 2,480,818	4,170,748
一般正味財産期首残高	2,253,831	4,734,649	△ 2,480,818
一般正味財産期末残高	3,943,761	2,253,831	1,689,930
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運用益	1,029	2,202	△ 1,173
受取寄付金	3,053,436	2,284,657	768,779
一般正味財産への振替額	△ 2,724,624	△ 3,742,765	1,018,141
当期指定正味財産増減額	329,841	△ 1,455,906	1,785,747
指定正味財産期首残高	66,946,985	68,402,891	△ 1,455,906
指定正味財産期末残高	67,276,826	66,946,985	329,841
<b>III 正味財産期末残高</b>	71,220,587	69,200,816	2,019,771

# 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	42,500	—	42,500	—	85,000
受取会費	262,000	—	—	—	262,000
事業収益	903,115	—	—	—	903,115
受取補助金等	40,408,179	—	7,108,904	—	47,517,083
受取受託金	230,000	—	—	—	230,000
受取寄付金	2,724,624	—	—	—	2,724,624
雑収益	—	—	3,067	—	3,067
経常収益計	44,570,418	—	7,154,471	—	51,724,889
(2) 経常費用					
事業費	43,528,358	—	—	—	43,528,358
管理費	—	—	6,866,240	—	6,866,240
経常費用計	43,528,358	—	6,866,240	—	50,394,598
(うち人件費)	22,954,877	—	3,569,809	—	26,524,686
評価損益等調整前当期経常増減額	1,042,060	—	288,231	—	1,330,291
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	1,042,060	—	288,231	—	1,330,291
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産修正益	287,353	—	72,287	—	359,640
経常外収益計	287,353	—	72,287	—	359,640
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	1	—	—	—	1
棚卸資産減少額	—	—	—	—	—
経常外費用計	1	—	—	—	1
当期経常外増減額	287,352	—	72,287	—	359,639
他会計振替額	459,010	—	△ 459,010	—	—
当期一般正味財産増減額	1,788,422	—	△ 98,492	—	1,689,930
一般正味財産期首残高	△ 1,640,978	—	3,894,809	—	2,253,831
一般正味財産期末残高	147,444	—	3,796,317	—	3,943,761
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
特定資産運用益	1,029	—	—	—	1,029
受取寄付金	3,053,436	—	—	—	3,053,436
一般正味財産への振替額	△ 2,724,624	—	—	—	△ 2,724,624
当期指定正味財産増減額	329,841	—	—	—	329,841
指定正味財産期首残高	41,946,985	—	25,000,000	—	66,946,985
指定正味財産期末残高	42,276,826	—	25,000,000	—	67,276,826
<b>III 正味財産期末残高</b>	42,424,270	—	28,796,317	—	71,220,587

# 貸 借 対 照 表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	6,195,485	4,095,125	2,100,360
棚 卸 資 産	1	1	-
未 収 金	235,083	1,199,198	△ 964,115
流 動 資 産 合 計	6,430,569	5,294,324	1,136,245
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	50,000,000	50,000,000	-
基 本 財 産 合 計	50,000,000	50,000,000	-
(2) 特 定 資 産			
おうみNPO活動基金積立金	167,548	451,296	△ 283,748
びわこ市民活動応援基金積立金	9,836,638	10,615,678	△ 779,040
積水化成成品基金積立金	460,071	420,068	40,003
笑顔あふれるコープしが基金積立金	1,060,399	500,393	560,006
日本の元気なきずなプロジェクト基金積立金	88	88	-
ナカザワNEOフレンドシップ基金積立金	547,999	507,996	40,003
げんさん食育NPO基金積立金	520,038	480,035	40,003
湖国文学活動応援むらさき基金積立金	440,040	368,038	72,002
びわ湖の日基金積立金	1,213,874	1,254,018	△ 40,144
びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金積立金	779,011	656,804	122,207
ネットワークセンター運営基金積立金	3,034,120	2,708,291	325,829
特 定 資 産 合 計	18,059,826	17,962,705	97,121
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
什 器 備 品	2,453,280	2,369,265	84,015
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,156,922	△ 2,204,416	47,494
電 話 加 入 権	382,136	382,136	-
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	678,494	546,985	131,509
固 定 資 産 合 計	68,738,320	68,509,690	228,630
資 産 合 計	75,168,889	73,804,014	1,364,875
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
未 払 金	3,554,238	2,820,717	733,521
預 り 金	394,064	305,274	88,790
流 動 負 債 合 計	3,948,302	3,125,991	822,311

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	—	1,477,207	△ 1,477,207
固 定 負 債 合 計	—	1,477,207	△ 1,477,207
負 債 合 計	3,948,302	4,603,198	△ 654,896
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	67,276,826	66,946,985	329,841
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(17,276,826)	(16,952,905)	(323,921)
2 一 般 正 味 財 産			
一 般 正 味 財 産 合 計	3,943,761	2,253,831	1,689,930
(うち特定資産への充当額)	(783,000)	(1,009,800)	(△ 226,800)
正 味 財 産 合 計	71,220,587	69,200,816	2,019,771
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	75,168,889	73,804,014	1,364,875